



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ



BAUHAUS

シンポジウム「知られざるバウハウス」
バウハウス100周年プレ・イベント

2017.11.24 (金) 受付 18:00 / 開始 18:30
ドイツ文化会館 (OAG) ホール

入 場 料 一般: 2,000 円 / 学生: 500 円 / 懇親会: 1,500 円
CPD適用 東京建築士会 2単位

※シンポジウム終了後に懇親会を予定しております

※入場料・懇親会費は当日、受付にてお支払いお願いいたします ※定員200名を予定

主催 NPO法人文化日独コミュニティー (JGCC)

後 援 ドイツ連邦共和国大使館 / (公社) OAGドイツ東洋文化研究協会 / (公財) 日独協会 / ドイツ学術交流会 (DAAD) / 日独協会ハンブルグ /
(一社) 日本建築学会 / (公社) 日本建築士会連合会 / (一社) 東京建築士会 / (一社) 東京都建築士事務所協会 /
(一社) 日本断熱住宅技術協会 / 稲門建築会 / ミサワホーム (株) / 専門学校桑沢デザイン研究所 / 日本パウル・クレー協会

シンポジウム「知られざるバウハウス」

バウハウス100周年プレ・イベント

第1次世界大戦後のドイツに誕生したバウハウスは、2019年に開校100周年を迎えようとしています。「バウハウスの最終目標はあらゆる芸術の統合としての〈大建築〉である」という初代学長ヴァルター・グロピウスのモットーのもとに新時代の扉を開きました。

総合芸術学校バウハウスはデザイン教育の実験室として様々な成果を生み、バウハウスの作品は今日でもありとあらゆる造形芸術に多大な影響を及ぼし、文化的評価を揺るぎないものとしています。しかしバウハウスは、20世紀ヨーロッパの激しい時代動向に翻弄されました。沢山の天才的な教員を擁したバウハウスは僅か14年間の活動の後、1933年ナチス政権の手によって廃校を余儀なくされます。

一方でこれまでバウハウス史の表舞台に登場することなく忘れられていた歴史的事実があることも確かです。今回のシンポジウムでは、バウハウスの光と影を検証しつつ、スター建築家グロピウス、ミース・ファン・デア・ローエ（三代目学長）に比べて日本ではあまり知られていない二代目学長ハルネス・マイヤーのドラマチックな人と作品も取りあげます。米国などに亡命しなかったバウハウスの出身者の活動について、バウハウスと女性、バウハウス教育の今日的意義、日本とバウハウスとの交流史を話題にディスカッションを行います。

田中 辰明

プログラム

○基調講演「知られざるバウハウス」

田中辰明氏（お茶の水女子大学名誉教授）

○ディスカッション「生誕100年を迎えるバウハウス」

モデレーター 浅野忠利氏（ウルム造形大学）

パネラー 田中辰明氏（お茶の水女子大学名誉教授） /

新藤真知氏（日本バウル・クレ協会代表） / 村上氏氏（自由学園図書室）

出演者プロフィール

田中 辰明 Tatsuaki Tanaka
1965年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専修課程修了。1965年～93年（株）大林組技術研究所勤務。この間71～73年DAAD(ドイツ学術交流会)奨学生としてベルリン工科大学ヘルマン・リーチェル研究所へ客員研究員として留学。93～2006年お茶の水女子大学教授。2006年ドイツ技術者協会(VDI)からヘルマン・リーチェル・メダル授与。現在お茶の水女子大学名誉教授、社団法人日本断熱住宅技術協会理事長。主な著書に「ブルーノ・タウト」(2012年、中公新書)「ブルーノ・タウトと建築芸術・社会」(2014年、東海大学出版会)のほかバウハウスに関する著作多数。

新藤 真知 Makoto Shindo

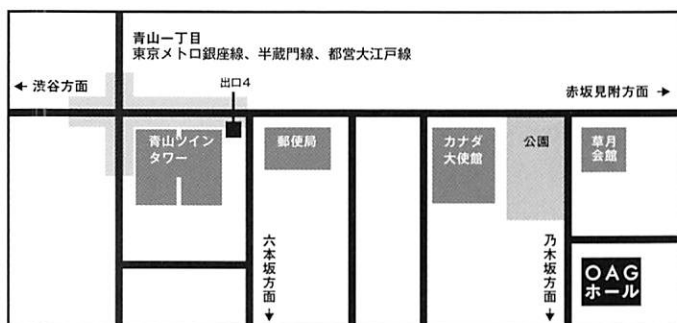
1950年東京生まれ。高校卒業後、劇団四季演劇研究所で舞台芸術を学ぶ。画廊勤務を経て1974年美術展コーディネーターとして独立。1997年に日本バウル・クレ協会を設立、現在に至る。著書に「芸術の非精神的なことについて」(1995年、勁草書房)「クレの旅」(2007年、平凡社)「クレの食卓」(2009年、講談社)など。

村上 民 Tami Murakami

1989年、自由学園女子最高学部卒業、国際基督教大学教養学部卒業、同大学大学院比較文化研究科修士課程修了。2001年より学校法人自由学園 羽仁両先生記念図書館・資料室勤務。

浅野 忠利 Tadatoshi Asano

1961年早稲田大学建築学科卒業と同時に（株）竹中工務店入社。1966年9月より2年間西ドイツ・ウルム造形大学にて学習・研究。2005年（株）竹中工務店常務取締役を経て退任退職。現在JGCC会員、NPO法人屋上開発研究会顧問など。



お問い合わせ

NPO法人文化日独コミュニティ(JGCC)事務局

FAX : 03-5634-6433

E-mail : info@jgcc.or.jp

URL : http://www.jgcc.or.jp

ドイツ文化会館 OAG ホール

東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館 1F
(地下鉄青山一丁目駅、4(北)出口より徒歩7分、草月ホール裏)

◎FAX またはメールにてお申し込みください。JGCCのHPにもお申し込みフォームがございます。

FAX : 03-5634-6433 / E-mail : info@jgcc.or.jp NPO 法人文化日独コミュニティ (JGCC) 事務局 行

ふりがな 氏名	ふりがな 勤務先
住所	懇親会 出席 欠席 どちらかに○をしてください。
TEL	FAX
E-mail	所属団体